

## 令和5年度 保育園内における事故について

### 保育園内で起きた事故について（医療機関受診）

医療機関で処置を受けたものは 5件 前年度は1件  
（熱性けいれん及び体調の急変による救急搬送3件）

常々、園の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。  
保育園での事故（怪我）において医療機関で処置を受けたものを報告致します。

	発生日	曜日	時間	年齢	傷病名	原因／備考
1	令和5年5月11日 ※救急搬送	木	午前8時	0歳児	蕁麻疹（じんましん） （卵アレルギーの疑い）	家庭での朝食で卵摂取後に登園、その後蕁麻疹がでる
2	令和5年7月20日	木	午前11時20分	1歳児	左鼻腔異物挿入	シール遊び時に鼻左穴にシールを入れる
3	令和5年10月25日	水	午前11時頃	5歳児	腓骨端線の損傷 （子どもに多い靭帯に関する損傷）	木に登る際、足を踏み外し、地面についた時、右足首を捻る
4	令和5年11月21日 ※救急搬送	火	午前11時40分	3歳児	アデノウイルスによる発熱	発熱による痙攣
5	令和5年11月30日 ※救急搬送	木	午後4時40分	4歳児	アデノウイルスによる発熱	発熱による痙攣

医療機関受診の怪我については年間5件（痙攣等救急搬送3件）の発生となります。ここ数年、病院受診の怪我は減少傾向にあります。子どもの興味関心を把握して遊びを見守り、必要に応じて適正な指導（声掛けや関り）を行うことに努めていく必要があります。救急搬送については3件です。痙攣、骨折、意識混濁などのケースは刻一刻と変わる状態にあるため子どもを重篤な状況へと変化させていく事例もあることから躊躇（ちゅうちょ）することなく搬送が必要と判断し119番通報致しました。

医療機関受診の怪我は減少傾向にありますが日常の擦り傷、切り傷、噛みつき、ひっかき等の看護師対応の怪我はあります。このことを踏まえて子ども達が落ち着いて遊びに没頭できる環境を構成して心穏やかな日常が過ごせるよう努めていかななくてはなりません。

今後も安心、安全な生活を維持できるように子どもの見せる姿に寄り添い、見守りながらも、安全面、衛生面での指導を継続していくことが大切と考えております。

（園長 廣部信隆）

